



医療法人社団 巨樹の会

赤羽リハビリテーション病院

*Create
Your
New Life*

Akabane Rehabilitation Hospital

病院
理念

手には技術 頭には知識 患者様には愛を

基本方針

1. 安心・安全な医療
2. 回復期リハビリテーション医療
3. 地域医療



院長 小中 千守

院長あいさつ

赤羽リハビリテーション病院は、2013年に赤羽の国立スポーツ科学センターと赤羽スポーツの森公園に隣接した環境に恵まれた地に、病床数240床のリハビリテーション病院として開設されました。日本最大級の回復期リハビリテーショングループ病院であるカマチグループの基幹病院の1つです。

リハビリの目的は運動機能や高次脳機能の回復だけではなく、「日常生活活動」(Activity of Daily Living:ADL)の改善による「生活の質(Quality of Life:QOL)の向上を図り、その人らしい人生を取り戻すことです。患者さまが楽しくリハビリを続けられるように明るい雰囲気づくりに努め、自らリハビリテーションを貫徹したい強い心を育てる心のリハビリテーションも行っています。

また、地域の医療機関との連携により、患者さまに安心・安全な医療を提供して参ります。



巨樹の会
赤羽
リハビリテーション病院

回復期リハビリテーション病棟とは

当院は回復期リハビリテーション病院です。回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患や骨折などの病気で急性期にて治療を受け、回復能力が高いと言われている時期の患者さまに集中的なリハビリテーションを行なう病棟です。当院では、医師、看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士などがチームを組み、患者さま一人一人に合わせたリハビリテーションプログラムを作成し、社会や家庭への復帰や寝たきりの防止を目的としたリハビリテーションの提供をさせていただきます。

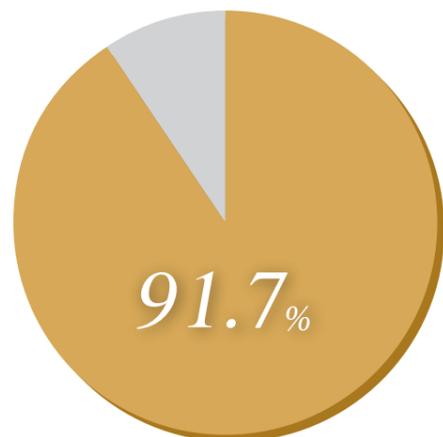
回復期リハビリテーション病棟の対象患者

	対象疾患	算定上限日数
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	150日
2	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180日
3	多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折	90日
4	外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90日
5	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	60日
6	股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日
7	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	90日

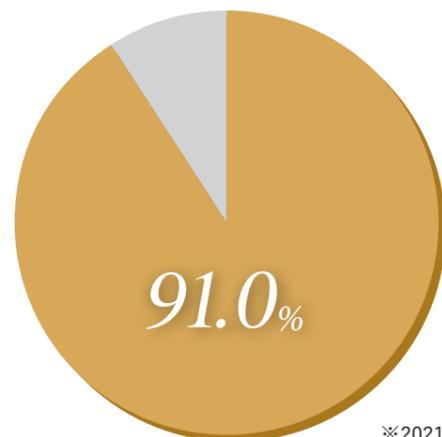
当院の実績

当院は質の高いリハビリテーションを提供するため、日々努めています。厚生労働省が定める最も高い病棟基準「回復期リハビリテーション病棟入院料I」の認定を受けており、患者さまやご家族さまに高い評価をいただいております。

在宅復帰率



患者満足度



※2021年度の実績

赤羽リハビリテーション病院

3つのPOINT

POINT

1

日本最大級の回復期リハビリテーショングループ病院

関東、九州、山口県に25の病院を有する医療グループ。病気を発症してから在宅に復帰するまでチームが一丸となり、一貫した医療を提供しています。



POINT

2

総勢472名の専門スタッフが在籍

専門スタッフが多数在籍し、患者さまの支援にあたっているため、充実したリハビリを提供しています。

医師 8名
看護師 130名 看護補助者 70名
リハビリテーション科
PT 133名 OT 56名 ST 28名
医療連携室
ソーシャルワーカー 8名 看護師 1名
薬剤師 3名
管理栄養士 6名
事務部 29名
※2022年4月現在



POINT

3

充実した設備とゆったりした空間

1階と6階にそれぞれリハビリ室を設けており、充実したリハビリができる体制を整えています。



1Fリハビリテーション室

6Fリハビリテーション室

医師



安心してリハビリテーションに取り組んでいけるように全身管理を行い、基礎疾患や合併症の医学的管理とリスク管理を行います。リハビリチームの一員としてリハビリの方針を立案し、推進をします。

THE TEAM

チーム医療を担うスペシャリスト

理学療法士



起きる・歩くなどの動きが不自由な患者さまに運動や電気刺激などの手段を用いて運動機能・日常生活動作の改善から生活の質の向上を目指します。

看護師



患者さまの健康状態を観察し、日々リハビリテーションが安全に行えるかどうか判断しています。さらに患者さまの思いを聞き一人一人に向き合い、患者さまのゴールに向け、多職種と連携を図り在宅復帰を支援します。

作業療法士



生活全般にかかわる活動を支援します。身体の動きの練習からトイレ・食事・入浴などの生活動作、家事動作や趣味・仕事復帰・車の運転など「その人らしい生活の再獲得」を一緒に目指します。

看護補助者
(ケアワーカー)



快適な入院生活が送れるよう生活環境の整理整頓や食事、排泄、入浴の援助、離床活動としてレクリエーション、体操を積極的に行っています。病棟生活のサポートをさせていただきます。

言語聴覚士



生活する上で欠かすことのできない「コミュニケーション」「食べる」「考える」が病気や事故などで難しくなった患者さま一人一人に合わせたリハビリをします。



薬剤師



院内の処方薬の調剤、薬剤の供給、入院患者さまへの服薬指導を行っています。薬のスペシャリストとして患者さま一人一人に最良の医療を提供できるように努めます。

管理栄養士



一人一人のご病気や合併症にも対応しながら、リハビリの運動量に合わせた栄養量を設定し栄養管理を行っています。患者さまにとって美味しく、そして元気になる食事を提供できるよう心がけています。退院時には栄養指導も行ってまいります。

医療事務



来院された皆さまが気軽な気持ちでお声掛け頂けるような環境づくりに努めています。皆さまからのご質問の窓口として対応させていただきます。

医療連携室
(ソーシャルワーカー)



入院のご相談や退院後の生活を送る上での不安や困りごとに対する支援を行います。他の医療機関や地域、行政や施設などとの連携を行い患者さまが安心して退院できるように支援させていただきます。

Rehabilitation

リハビリを目的とした設備やリハビリ機器など、一人一人に合わせて練習の行える環境を整えています。



歩行練習 (All in one)



体重を支える装置を使用して、歩行練習を行うことができます。立っていることが難しい患者さまに対しても歩行練習を行います。

上肢・手指機能練習 (HANDS) (IVES)



電気刺激を使用して関節の動きを促しながら手や足の練習を行います。

嚥下内視鏡検査 (VE)



実際に飲食物を飲み込み、喉を通過する様子を調べることで安全に配慮した食事練習を行うことができます。2種類の検査方法があり、患者さまに合った検査が可能です。

嚥下造影検査 (VF)



車椅子の調整



患者さまに合った車椅子の選定と調整を専門のスタッフが対応します。

筋力トレーニング



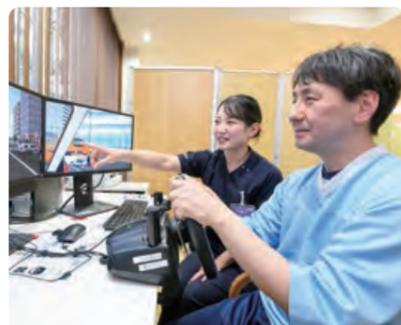
腕や足など数種類の筋力トレーニングの機材を導入しています。

物理療法



超音波などの機器を使用しての治療も行っています。

ドライビングシミュレーター (DS)



運転の評価や練習のために、模擬的な自動車運転練習が行えます。

装具選定



練習用の装具を腕用、足用と各種取り揃えており、病状に合った練習を行うことが可能です。

体組成評価 (SECA)



体の筋肉量などを測定し、リハビリの効果判定を行うことができます。

家事動作練習



実生活に必要な調理や洗濯、掃除などの練習も行っています。調理練習はガス火、IHのキッチンで実施可能です。

口・顔のリハビリ



口や顔への刺激から食事に向けての練習を行います。

入院から退院まで 365日、リハビリテーションを提供しています。

一緒に頑張りましょう！



入院

入院時は医師、看護師、リハビリスタッフが同席し患者さまの診察を行います。運動機能や認知機能障害や日常生活に必要な動作の評価を行います。患者さま、ご家族さまにお話を伺いながら治療計画を立て、入院初日よりリハビリを提供しています。



リハビリテーション開始

リハビリスタッフによる評価を行い、機能障害の改善と日常生活動作の向上を目指します。一人一人の治療、リハビリの計画を立てていきます。自宅退院や社会復帰を目指したりリハビリを365日提供します。



定期面談

毎月評価を行い、主治医などから患者さまのリハビリの進捗説明、リハビリプログラムの提案を行っています。患者さま、ご家族さまのご意向も伺いながら今後の在宅復帰に関するイメージを具体的にし、必要に応じてプログラムの修正を行います。



退院前面談

在宅生活に向けて必要と考えられる介護保険サービスや福祉用具の準備を進めていきます。在宅生活に必要なご家族さまへの指導や環境調整を行い、退院日を決定していきます。



退院

退院後に医療、介護サービスを円滑に受けられるように、ケアマネージャーやその他関連機関に必要な情報提供を行います。



リハビリテーション1日の流れ

7:00

起床・整容



8:00

朝食



9:00

作業療法



12:00

昼食



14:00

理学療法



15:00

病棟での歩行練習



16:00

言語療法



18:00

夕食



22:00

消灯



退院に向けた支援

「退院後の生活が不安だ」という患者さまに私たちは、安心してご自宅に戻れるようサポートします。



何でもご相談ください!



入院中や退院後の経済的なことが気になります。



ソーシャルワーカーや看護師により、入院中、退院後の相談・支援をさせていただきます。不安な点があればお問い合わせください。

<主なサポート>

- 社会保障などの手続き
- 施設などの相談
- 退院後の生活についての相談



退院後、自宅で安心して生活できるかな…。



退院までに、自宅での生活を想定して動作練習を実施させて頂いています。一例として実際にご自宅にお伺いし、家屋環境の確認や車の乗り降りの練習も行っています。また、6階のシミュレーションルームに和室・洋室、トイレ、浴室を設けており、自宅に近い環境での動作練習を行うことができます。また、福祉用具も一部置いてあるため実際に使用して動作を確認することもできます。家事動作の練習やご家族さまへの介助指導も実施させていただきます。



<主なサポート>

- 日常生活動作練習・指導
- 家屋調査
- 家族指導
- 福祉用具の選定、紹介
- 栄養指導



退院後、仕事に復帰できるか不安。



当院では就労支援チームを中心にサポートをさせていただきます。就労支援に対してはワークサンプル幕張版を用いて職業評価を行っています。通勤手段の確認をし、公共交通機関の練習や自動車運転が必要な場合はドライビングシュミレーターを用い運転の評価、練習を行っています。

<主なサポート>

- 就労内容に合わせての練習
- 職場への情報提供



退院後、自分でリハビリをつづけられるかな…。



当院は介護保険での訪問リハビリもご相談をいただいたうえで利用することも可能です。訪問リハビリでは、生活の幅を広げるために動作の練習や自宅環境の調整や必要な物品についてご相談、ご家族さまへの介助指導を行っています。

<主なサポート>

- 訪問リハビリによる自宅内・外での練習



Training Space

トレーニングスペース



1Fリハビリテーション室



患者さまの憩いの場、ダイニング



病院の目の前に広がる桜並木



窓から光が差し込むポーチ



天気の良い日は富士山が望めます



1Fリハビリガーデン



1Fリハビリガーデン



シミュレーションルーム浴室



6Fシミュレーションルーム



6Fリハビリガーデン

Comfortable Space

快適な空間



待合として利用できるラウンジスペース

病棟のご案内

その他の施設



車椅子でも利用できる洗面台やトイレ



6階の洗濯機は無料で使用可



各階にある無料の給茶機

多床室(2~4名)・個室

2名部屋と4名部屋、個室をご用意。多床室はプライベート空間を保つために家具で仕切っておりリラックスしてお過ごしいただけます。

4名部屋

トイレは各部屋出入口のすぐそばにあります。アメニティ代は別途頂戴いたします。



特別室A.B.C

快適性を重視したバス・トイレ。A室からC室まで3タイプをご用意しました。快適な入院生活をお送りいただけます。

特別室A

バス、トイレ、ミニバー付き。テレビ、冷蔵庫、パジャマ・リハビリ着、タオルなどのアメニティ代はお部屋代に含まれています。



2名部屋

トイレは出入口すぐそばにあります。テレビ、冷蔵庫、パジャマ・リハビリ着、タオルなどのアメニティ代はお部屋代に含まれています。



特別室B

トイレ、テレビ、冷蔵庫、パジャマ・リハビリ着、タオルなどのアメニティ代はお部屋代に含まれています。



個室

トイレ付き。テレビ、冷蔵庫、パジャマ・リハビリ着、タオルなどのアメニティ代はお部屋代に含まれています。



特別室C

トイレ、テレビ、冷蔵庫、パジャマ・リハビリ着、タオルなどのアメニティ代はお部屋代に含まれています。



入院までの流れ

<病院間の連絡>

医師または看護師、ソーシャルワーカーから医療連携室までご連絡いただき、FAXにて診療情報提供書・ADL表、血液データをお送りいただくようお願いいたします。即日(当日もしくは翌日)、ご連絡いたします。

医療連携室直通 9:00～16:30(平日)

電話:03-5993-5775 FAX:03-5993-5776

<ご家族さまの入院前見学・面談の調整>

ご家族さまより連絡をいただき、入院前見学・面談の日程を調整させていただきます。

※コロナウイルス感染予防の観点から只今、見学はご遠慮いただいております。

<見学・面談>

<入院決定のお知らせ>

入院日の調整をさせていただきます。

<入院>

入院日までに以下をご用意ください。

1. 退院証明書

2. 診療情報提供書

3. 看護サマリー

食事内容:治療食内容…主食、副菜の形態、塩分・脂肪・タンパク質制限の有無、禁忌食、カロリーなどについてご記載ください。身長・体重のご記載もお願いいたします。

4. リハビリサマリー

5. 画像

- ・胸部単純写真
- ・発症直後、直近のもの(術前・術後)、経過がわかるもの
⇒ CD-Rでもフィルムでも結構です。

6. 血液検査データ、心電図データ

直近のもののコピーをお願いいたします。

7. 薬(1週間～2週間)

※クリティカルパスやプロトコルがある場合はいただけると幸いです。



画:カマチグループ関東本部 関東統括リハビリテーション本部長

令和健康科学大学リハビリテーション学部 学部長

稲川 利光

元気になって新しい人生を歩みましょう
リハビリして人生の再出発です。

